



浦 添 市 地 域 公 共 交 通 会 議

【 第 3 回 】

資料 2 : 浦添市デマンド交通実証運行に向けた交通事業者調整について

令和2年3月27日
浦添市都市建設部都市計画課

- 浦添市デマンド交通実証運行に向け、令和2年2月19日に開催された「第2回浦添市地域公共交通会議」で示した実証運行形態を踏まえ、下記の通り既存交通事業者との合意形成に向けた調整を行った。

日時	調整先	調整内容
2月26日	各路線バス事業担当者との意見交換	合意形成に向けた調整項目および方向性に関する意見交換
3月 2日	浦添市事務局検討会議	第2回交通会議で示した素案に加えて、3つの追加運行形態について検討整理
3月 4日	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 (一般社団法人 全国個人タクシー協会沖縄支部)	新たな運行形態を含めた実証運行案について説明のうえ、実証運行に伴う既存事業への影響可能性や、同意頂けるかについて確認
3月10日	東陽バス株式会社	
3月12日	那覇バス株式会社 株式会社 琉球バス交通	
3月12日	沖縄バス株式会社	
3月23日	沖縄都市モノレール株式会社	

合意形成に向け提案した実証運行案



浦添市 Urasoe city

運行形態	第2回 交通会議案
運行区域	市内全域
運行時間帯	7～19時
運賃体系	一律運賃（普通） 300円



合意形成に向け提案した実証運行案



浦添市 Urasoe city

運行形態	追加提案 パターン1
運行区域	市内全域
運行時間帯	8～19時
運賃体系	ゾーン制運賃（普通） ゾーン内300円 ゾーン跨ぎ100円～加算

【特徴】東西移動の利便性を上げることで、

- ・乗合率の向上（同一・横方向の利用を増やす）
- ・縦軸路線バスに対する影響を抑える（縦軸移動時の運賃と運行時間帯で住み分け）

ゾーン制運賃の例

- ・概ね県道38号を基準に南北にゾーンを分割
- ・同一ゾーン内は一律300円
- ・ゾーンを跨ぐ場合は100～200円程度の料金を加算する
- ・ただし、運動公園エリアは公共施設が集積しているため加算無しゾーンとする
- ・運行時間帯は8時～19時とし、毎時1便運行とする

以下は境界線上にあるためどのゾーンからでも300～400円で移動可能

- ※浦添市役所
- ※浦添警察署
- ※てだこ浦西駅、浦添前田駅（モノレール結節）
- ※大平IC（330系統バス結節）
- ※第二城間近く（急行バス等結節）
- ※パルコシティ（遠いので施設側に一部運賃を負担頂くことも検討？）

その他配慮する点

- ※高齢者、高校通学はゾーン跨ぎでも加算無し（または高齢者・学生運賃の設定）
- ※南ゾーンでは区域外乗降所として古島駅を設定

留意点

- ※県道38号沿いの住民・商業が優遇される形になる



合意形成に向け提案した実証運行案



浦添市 Urasoe city

運行形態	追加提案 パターン2
運行区域	市内全域
運行時間帯	7～19時
運賃体系	一律運賃（普通） 400円



合意形成に向け提案した実証運行案



浦添市 Urasoe city

運行形態	追加提案 パターン3
運行区域	市内全域
運行時間帯	7～19時
運賃体系	一律運賃（普通） 400円 ※ただし65歳以上、障がい者は300円



既存交通事業者との協議・調整結果



浦添市 Urasoe city

- 各交通事業者と実証運行に向けて協議・調整した結果を下記に整理する

調整項目・調整先	第2回 交通会議案	追加提案 パターン1	追加提案 パターン2	追加提案 パターン3
運行区域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域
運行時間帯	7～19時	8～19時	7～19時	7～19時
運賃体系	一律運賃（普通） 300円	ゾーン制運賃（普通） ゾーン内300円 ゾーン跨ぎ100円～加算	一律運賃（普通） 400円	一律運賃（普通） 400円 ※ただし65歳以上、障がい者は300円
一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会 一般社団法人 全国個人タクシー協会（沖縄支部）	○ タクシー利用者が増加する19時以降は運行されないため比較的影響が少ないと考えられる	× デマンド交通側の利便性や採算性低下の可能性が高いと考えられる	○ タクシー利用者が増加する19時以降は運行されないため比較的影響が少ないと考えられる	○ タクシー利用者が増加する19時以降は運行されないため比較的影響が少ないと考えられる
東陽バス株式会社	×	×	○	○
那覇バス株式会社 株式会社 琉球バス交通	一部既存路線バスの最大運賃より低額となるため影響が大きいと考えられる	ゾーン内で一部既存路線バスの最大運賃より低額となるため影響が大きいと考えられる	路線バスの最大運賃より20%程度高額であるため他に比べて影響は少ないと考えられる（ただし、影響のモニタリングと対策は必要）	同左に加え、既存路線バスにおける浦添市内々利用者のうち65歳以上は13.5%程度※1と見込まれるものの、浦添市の政策として高齢者や障がい者に対する移動支援として理解できる
沖縄バス株式会社				
沖縄都市モノレール株式会社	○	○	○	○

実証運行に向けて、○：許容できる、×：許容できない

※1 平成25年度沖縄県バスOD調査結果より